

親子の学び応援講座



〈目的〉 本県における家庭教育の推進に向けて、会津美里町小中学校連合PTAを対象に講座を行い、親子の学び・家庭での実践活動を支援する。

会津美里町小中学校連合PTAにおける講座

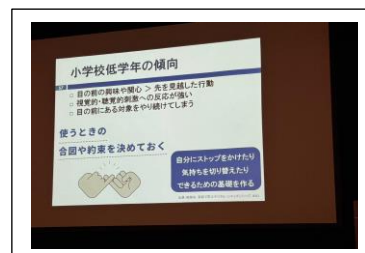
- ◆とき 令和5年12月19日(火)
- ◆ところ 会津美里町じげんプラザ 会議室
- ◆参加者 40名(保護者、教職員・その他)
- ◆講演 演題：AI時代のスマホ・ネットとの上手なつきあい方
講師：会津大学 短期大学部 産業情報学科 教授 中澤 真 氏

1 <テーマ設定の理由及び実践活動のねらい>

児童生徒のスマホ・ネット等の取り扱いについて保護者や教職員が確かな知識をもち、適切な関わりができる。

2 <要 点>

- (1) デジタル・シティズンシップ
 - 危険なものとの折り合い方
- (2) AIの背景と人間の仕事への影響
 - 人口知能がもたらす未来
 - ChatGptの活用事例・実力
 - 読解力の危機
- (3) メディアリテラシー能力を高める
 - フェイクニュース対策
 - クリティカルシンキングの必要性
- (4) 問いを作るスキル・課題を見つけるスキル
 - 身に付けるべきデータリテラシー
- (5) ネットやデジタル機器についての子どもの関わり方



参加者の感想から

- ネットの情報をすべてうのみにするのではなく、「本当かな?」と疑ってみることなど、ネットやデジタル機器を正しく子供たちに関わらせることが大切だと感じた。
- トラブルを防ぐだけでなく、トラブルを経験させることも大切であるということを知り、確かにその通りだと思った。「小さな失敗をさせる」は印象に残った。
- ゲームやスマホ、タブレットを使いすぎて困っているという保護者が多いので、今回の講演の内容を伝えたい。単に「禁止」「制限」するのではなく、上手な付き合い方を考え、子どもの意思も尊重していく。AI時代に生きる子ども達にあった指導を今後も学んでいきたい。

